



憲法って何だろう? 「檻の中のライオン」に学ぶ!

子ども部会 きみがき 圭子

昨年12月19日、今一番わかりやすい憲法の話「檻の中のライオン」学習会を開催。改憲を進めようとする動きがある中で、「憲法を変える、変えない」の前に「そもそも憲法って何?」という基本的なことをみんなで考えました。



▲わかりやすい講演で、あっという間の2時間半だった。パペットを使って解説する榎大樹弁護士

講師はひろしま市民法律事務所所長の榎大樹(はんどうたいき)弁護士。講演は北海道から沖縄まで全国を駆け巡り、今回が453回目でした。国家権力をライオンに、憲法を檻に例えて2時間半、パペットを使って楽しく解説してくれました。

■誰もがもっている「人権」

憲法を考える根っことなるのが「私たちはみんな同じ人間。生まれながらに人間らしく生きていくことができる『人権』をもっている」ことです。これを誰もが共有すべきです。

私たちが人間らしく生きていくために必要なルールや公共サービス(政治)を仕切ってもらうライ

オン(国家権力)が、強くてわがままで暴れ回らないように、檻の中にいてもらう約束をしたのが憲法。そしてライオンを動かす仕事をするのが政治家や公務員です。

■檻を見張ることが大事

「国民が主権者であり、憲法をつくり、その下に国家権力があるはずが、現政権では上下が逆になっている。ライオンには檻の中で権力を使ってもらおう(立憲主義)約束なのに、ライオンが自分で檻を壊そう(権力行使)としているのはルール違反。大事なのは憲法をつくるのも変えるのも国民である」ということ。さらに、民主主義＝多数決ではないこと、平和、表現の自由、9条、自衛隊、改憲などについても解説がありました。

「ひとりひとりが主権者としての意識をもち、政治に関心をもって選挙に行くこと」。これが今私たち国民につきつけられている最も大事なことだと再確認しま

した。毎月9日の「9条スタンディング」など、機会あるごとに「憲法とは」を伝えていきます。

●参加者の声 (アンケートより抜粋)

中学生や親子を含む多くの参加がありました。

- ・国家権力をライオンにたとえた話はわかりやすかったです。法の下での平等、憲法改正せず集団的自衛権、個人主義、全体主義、人身の自由、基本的人権の尊重など、今まで耳にしたが意味のわからない言葉も今回のお話で少しわかりました。

- ・子どもが生まれて「しっかり自分たちに関わる憲法のことを知らないとな」と思い参加。知らない話ばかりで無知な自分をはずかしく思うと同時にきっと友人たちも知らないだろうなど、危機感を覚えました。

- ・小学生に読み聞かせをしていますが、憲法のこと、ちゃんと伝えていきたいと思います。憲法はよく見えず、自分たちを守っていることに気づいていなかったです。

●気になりませんか?子どもの脳に有害な化学物質

2月20日、ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議の水野玲子さんを講師に学習会を開催。身近に化学物質がたくさんあることを再認識。

農業にも話がおよび、イチゴは洗っても農業は落ちないと聞いてゾッとした。赤ちゃん連れの参加もあり、質問も多く、関心の高さがうかがえた。



「柔軟仕上げ剤等に含まれる香料の成分表示などに関する陳情」の署名活動に協力しています。

●練馬・生活者ネットワークのルール

1. 議員を職業化せず、特権化しないために、議員は最長でも3期12年でローテーション(交代)します。

2. 議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。

3. 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。◎カンパを募集しています。カンパ振込先【郵便振替】00100-6-398010練馬生活者ネットワーク